

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年4月25日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4679400095
法人名	有限会社 ひだまり
事業所名	グループホーム ひだまり
所在地	鹿児島県大島郡和泊町国頭2959-1番地 (電話) 0997-92-2398
自己評価作成日	平成25年2月27日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年3月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域で開催される各種行事へは積極的に参加しています。また、行事以外にも天気が良いと手作りの弁当を持って出かけたり、食材を持って現地で作ったりして楽しんでいます。ケアの面では利用者が落ち着いて過ごせるような声かけやケアを常にこころがけ、ホームは穏やかな明るい雰囲気になっています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは、地域の行事への参加や学校の生徒との交流など、日常的に交流があり、地域の一員としての繋がりができている。
- ・管理者は職員の意見をもとに、飲料水を飲み易くするコップやポータブルトイレの背もたれを取り付ける等、利用者が生活しやすいように工夫して支援している。
- ・職員は看取りケアを経験して、今後、利用者へのケアに活かしている。
- ・小・中学校の職場体験学習で受け入れた生徒達に、体験を通して学んだ事の気づきの発表の場を設けている。
- ・職員間のチームワークが良く、職員全員が介護に対してプロ意識があり、利用者にとってもより良い環境となっている。
- ・各居室は家庭的な雰囲気の中で、自分の自宅と変わらない様な、それぞれに、快適な生活ができている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	常に理念に基づいたケアを心がけています。	事業所玄関入口の常に見える場所に理念を掲げ、職員は理念を共有し実践に繋げている。年1回、自己評価時に理念について話し合っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の学校の各種行事や長寿クラブの定例会、各種行事などに積極的に参加しています。	職員と利用者は学校の学芸会に参加して児童との交流を楽しんだり、長寿クラブの会員となって地域の中で日常的に交流している。地域の役員や子供110番の受け入や消防団・近隣者や家族を交えての防災訓練や事業所でのバーベキュー会へ地域住民を招待したり、近隣の方からの野菜の差し入れなど日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	研修会等の講師として呼ばれる機会が多く、経験からの認知症に対する知識と、正しいケアを広めるために生かしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>利用者の日常や行事参加の様子をスライドで紹介し、その感想やアドバイスを日々のケアに活かしています。実施の回数が足りませんが。</p>	<p>会議は開催している。事業報告や利用者の様子を報告したり、外部評価を受けた結果をプリントにして報告している。防火対策についての話し合いで、近隣住民との協力と理解を得よう話し合う等、サービス向上に活かしている。</p>	<p>運営推進会議を年6回開催できるよう期待したい。</p>
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>常に連携は取れており事業所の取り組みも理解されていると思います。</p>	<p>町担当者とは日頃から連携を取っており、書類の提出や困難事例等の相談をしアドバイスを得ている。転倒事故発生時は報告を兼ね情報交換目的でも役場に出向いて協力関係を築いている。認知症サポーター養成講座の講師もしている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>勉強会を開催しています。玄関の鍵は防犯のために夜間のみ施錠しています。</p>	<p>身体拘束に関しての職場内研修を行っており、虐待に対する勉強会をDVDを見ながら実践を通じて勉強会を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。常に情報の共有を図り、車イスに於ける身体拘束をしないケアの実践をしている。日中、玄関の施錠は行っていない。自由な暮らしを推進している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている</p>	常に意識して防止に努めています。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	勉強会も開催していますが、現在利用している方はいません。		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	図っています。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	家族の面会時のコミュニケーションや運営推進会議への参加、苦情受付窓口やご意見箱を設置しています。	利用者からは日頃から生活の中で思いを聞いている。家族からは面会も頻繁にあるのでその時を利用したり、運営推進会議等に参加された折に情報を提供して意見や要望を聞いている。出された意見は、サービスの質向上に繋げて運営に反映させている。意見箱も設置している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員会等での意見を検討し反映するように心がけています。	毎月、職員会を実施して、ケア支援時に利用者に負担なく職員が動きやすい事業所の環境・設備について職員からの意見が出され、飲料水を飲み易くする為にコップを工夫したり、ポータブルトイレ使用時の背もたれの工夫など、職員の意見をケアに活かしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	島内での研修会や講演会には必ず参加するようにしており、ホーム内ではOJTを活用しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	島内のグループホーム間で取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	安心して過ごしていけるように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	築くことを目標に常にケアを展開しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	築くことを目標に常にケアを展開しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの理容室や通いなれた教会へは毎週送迎し、支援に努めています。	利用者の馴染みの美容室の利用や毎週教会へ送迎・予防教室の参加者との交流など、馴染みの関係継続の支援を行っている。島外居住の家族との関係が途切れないよう、インターネットのカメラで対話や状況確認ができる等の支援も行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	常に心がけて支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	時節の挨拶や行事への呼びかけ等関係が続いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の主体性を大切にしながら可能な限り努めています。	毎朝の申し送りで意向を把握し利用者の思いや希望をケア日誌に記録し共有している。把握の困難な利用者は、家族に聞くなどして職員で話し合い思いや意向の把握に努め、本人中心に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族の面会時に実施するようにならざるべく本人にも参加してもらうようにしています。	本人や家族の参加のもと、介護計画を作成している。家族の面会時に近況を話し合っている。モニタリングは毎月の職員会議で評価している。状況変化時には臨機応変に対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>各種記録類を参考にして活用しています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>可能な限り対応するように努めています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>可能な限り支援するように努めています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>定期受診時はホームで対応し、緊急時等は家族と連絡を取り一緒に受診に付き添い、安心を提供できるように島内の医療機関の協力のもとに支援しています。</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医の受診支援を行っている。定期受診は職員が付き添い、家族への結果報告を行っている。緊急時は家族や職員も付き添っている。島内の医療ネットワークを利用し適切な医療が受けられるように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	支援しています。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	必要な情報交換を行い、関係づくりにも努めています。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	終末期に向けては主治医、家族との話し合いをふまえて共通の意識のもとに取り組んでいます。	終末期に向けて看取りを行う方針である事を、早い段階で本人や家族・主治医等と話し合いを行っている。終末期ケアに対して職員も受け入れており、利用者や家族の意向を確認しながら共通認識のもと方針を共有し支援している。事業所はこれまでに看取りの事例がある。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	定期的な訓練を実施し、できていると思います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練は地域に呼びかけて協力のもとに実施しています。</p>	<p>年2回、夜間想定を含む火災避難訓練を実施している。そのうち1回は近隣住民に呼びかけて一緒に訓練を行い、地域との協力体制を築いている。緊急時の連絡体制もできている。非常時用の水や乾パン等の食糧・オムツなどを備蓄している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉かけや誘導の方法に工夫し、常に配慮したケアを心がけるようにしています。	ケア提供時に、誇りやプライドを損ねない配慮ある言葉かけや対応を行っており、排泄の誘導などの声かけなど十分に気をつけている。日常的にプライバシーの確保にはケアをするなかで気づいたときには注意しながら支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	できていると思います。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしい日常生活を基本に支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人の主体性を大切にしながら支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の献立、準備から配膳、片づけまで一緒にするように心がけています。	野菜の繕いや配膳、片付けなど利用者個々の力量に応じて職員と一緒に楽しみながら食事も行っている。遠出をしてお弁当や外出先で調理して食事を楽しんだりしている。ホールのテーブルに野菜を飾り、見て触って食して味わうなどしている。おやつ作りも楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後実施されています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄のパターンを把握してそれぞれの身体機能に合わせた支援をしています。オムツの使用は開設して実績なし。	排泄パターンを把握しトイレ誘導を行っている。日中は殆ど布パンツやリハビリパンツを使用し、利用者の様子でトイレ誘導をしている。夜間のみポータブルトイレ使用者も様子を見ながら自立に向けた支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝の牛乳や献立に工夫して取り組んでいます。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	日中であれば毎日でも入浴できます。最低でも2日に1回は入浴できるようにしています。	毎日入浴を楽しめる様支援している。夜中に失禁した時は翌日の早朝、入浴を援助している。ゆずやミカンの皮を入れ入浴するなど入浴を楽しむ支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	実施しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	支援されています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>地域の学校の各種行事や長寿クラブの定例会、各種行事などに積極的に参加し、外出の機会を設けています。</p>	<p>日常的な外出は、庭に出てのお茶や花の手入れ・ベランダでの日光浴などを行って戸外の空気を楽しめる様支援している。遠出は月1回程、各種の地域行事の参加やドライブをしている。弁当を用意し、遠出してドライブを楽しむ等の支援も行っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>支援しています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>支援しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾ったりして取り組んでいます	ホールは、天井が高く広々として日当たりもよく明るい。湿度計があり、部屋の換気など環境に配慮されている。壁には絵や外出時の花見などの行事の写真などが、提示されている。近所の方からの差し入れの花が飾られ、庭にも色とりどりの花が眺められ心の安らぎを感じさせ、居心地よく過ごせるよう工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂の畳スペースで過ごしたり、互いの居室の交流もあります。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の状況に合わせてベッドや家具を自立を考慮して配置し、快適に過ごせるように工夫しています。	居室は、利用者の状況に合わせたベッドや寝具類が用意され、本人の持込の使い慣れた家具がお気に入りの場所に置いてある。壁には家族や孫の写真が飾られており、利用者が安心して居心地良く過ごせる様工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	されていると思います。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない